

深刻な人材不足が中小企業の課題といわれる中、従業員が働きやすい環境づくりや多様な人材の活用を積極的に推進されている2社を訪問いたしました。

求人難はどこ吹く風。驚きの離職率ゼロ%

英興株式会社は、戦後間もない昭和22年に創立。電子部品や半導体の製造過程で使用される石英ガラスの加工技術と知識、ノウハウによって業容を拡大されてきました。現在は、半導体装置の設計開発や組み立て、部品の選定まで、ワンストップで請け負える体制を構築し、顧客から高い信頼を得ておられます。

英興株式会社は、「ありがたいことに、人手不足、どこ吹く風です」と稲葉社長。その秘訣は、休暇日数や処遇などの採用条件はもちろん、ワークライフバランスの推進や雇用延長、メンタルヘルス対策など、働きやすい職場づくりの総合的な取り組みです。その結果、離職率は驚きのゼロパーセント。



お話を聞きした稲葉社長(左)と福原取締役(右)

英興株式会社

代表者/代表取締役社長 稲葉 正人
住所/伏見区下鳥羽六反長町123
TEL/075-621-2301
事業内容/石英ガラス製品(製)(販)、ファインセラミックス(製)(販)

新入社員も大活躍。出る杭を育てる社風



IoT 擬人化キャラクター「IoTan(いおたん・右)」の前で岡田社長(中央)と

株式会社KYOSOは昭和48年に創立されたIT企業。創業時期はIT企業の黎明期で、大型計算機のデータ入力業務を皮切りに、システム運用や開発も任せられるようになり、顧客との信頼関係を築いてこられました。近年は、IoTやAIといった新技術を用いたサービス開発にも力を注いでおられます。

同社では社員の帰属意識や一体感を高めるため、年に一度、全社員が一堂に会し、日ごろの活動成果を発表する「KYOSOコンベンション」を開催。社員投票によって優秀事例を表彰されています。また、行動指針の規範となる取り組みを行った社員を表彰する制度もありますが、毎年新入社員が上位入賞を果たしています。若い社員がチャレンジし、まわりの先輩社員がサポートする社風がうかがい知れます。そのほかにも資格取得報奨や利用しやすい育児休業制度など福利厚生も充実し、人材の定着・育成につなげておられます。

株式会社 KYOSO

代表者/代表取締役社長 岡田 恭子
住所/中京区蛸薬師通鳥丸西入橋弁慶町227 第12長谷ビル2F
TEL/075-229-6340
事業内容/各種IT開発、運用サービス



会頭のひとこと

今回訪問した2社は、それぞれの業界特有の採用・雇用の難しさに直面しつつも、大胆な取り組みによって、社員が活躍できる職場環境を整えてこられた。その結果、社内に知恵が蓄えられ、成長の源泉になっている。2社ともに若さあふれる代表者で、今後のさらなるご活躍を期待したい。